



## 2023年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 鳥越製粉株式会社

上場取引所 東 福

コード番号 2009 URL <http://www.the-torigoe.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 鳥越 徹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 中川 龍二三

TEL 092-477-7112

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	19,446	9.8	751	13.7	999	7.5	729	11.1
2022年12月期第3四半期	17,714	6.3	870	23.3	1,080	21.9	655	4.0

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 1,364百万円 (11.3%) 2022年12月期第3四半期 1,539百万円 (406.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	31.32	
2022年12月期第3四半期	28.19	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	43,213	34,556	79.9
2022年12月期	41,593	33,543	80.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 34,529百万円 2022年12月期 33,517百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期				15.00	15.00
2023年12月期					
2023年12月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年12月期期末配当金の内訳 鳥越グレインホールディングス株式会社設立記念配当1円00銭

### 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,750	13.7	1,300	5.5	1,540	2.9	1,050	12.7	45.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注)詳細は、添付資料P.7「会計方針の変更」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	26,036,374 株	2022年12月期	26,036,374 株
期末自己株式数	2023年12月期3Q	2,759,262 株	2022年12月期	2,763,107 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	23,275,197 株	2022年12月期3Q	23,273,340 株

(注)当社は、取締役等に対する株式報酬制度を導入しており、株式交付信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績予想等の将来に関する事項は、現時点で当社が入手している情報や合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は種々の要因により大きく異なる場合がありうることをご承知おきください。業績予想に関する事項は、添付資料P.2「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(四半期連結損益計算書) .....	5
(四半期連結包括利益計算書) .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化を背景に人流の拡大やインバウンド需要の回復等により、景気は持ち直しの動きが見られましたが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化等に伴う原材料・エネルギー価格の高止まりや円安の進行による物価上昇もあり、先行きは不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、原材料価格や諸経費の上昇を反映した食料品価格の値上げが続く中で、消費者の節約志向や低価格志向は一段と強まっており、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況にあって当社グループは、中期経営計画「TTC150 Stage2」の最終年度として、将来の持続的成長に向けた諸施策に取り組みました。

当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は194億4千6百万円(前年同期比9.8%増)となりました。

収益面につきましては、原材料価格の上昇や電力費をはじめとする各種コストの増加等により、営業利益は7億5千1百万円(前年同期比13.7%減)、経常利益は9億9千9百万円(前年同期比7.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億2千9百万円(前年同期比11.1%増)となりました。

単一セグメント内の区分別の状況は次のとおりです。

#### (食料品)

①製粉については、業務用小麦粉の出荷数量が増加したことに加え、4月に実施された輸入小麦の政府売渡価格引き上げに伴う製品価格の値上げや副産物のふすま販売価格が堅調に推移したこと等により、売上高は87億6千9百万円(前年同期比16.2%増)となりました。

②食品については、ミックス製品の出荷数量は減少しましたが、製品価格の値上げ等により、売上高は54億1千1百万円(前年同期比5.0%増)となりました。

③精麦については、出荷数量は減少しましたが、販売価格の上昇等により、売上高は41億3千9百万円(前年同期比6.8%増)となりました。

#### (飼料)

飼料については、出荷数量の減少により、売上高は10億9千5百万円(前年同期比0.3%減)となりました。

#### (その他)

その他については、受取保管料の減少等により、売上高は2千9百万円(前年同期比17.8%減)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は432億1千3百万円となり、前連結会計年度末比16億2千万円増加しました。この主な要因は、原材料及び貯蔵品、投資有価証券が増加し、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものです。

また、負債合計は86億5千7百万円となり、前連結会計年度末比6億7百万円増加しました。この主な要因は、支払手形及び買掛金、固定負債(繰延税金負債)が増加し、借入金が増加したことなどによるものです。

純資産合計は345億5千6百万円となり、前連結会計年度末比10億1千3百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加などによるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

①輸入小麦の政府売渡価格が2023年10月1日から5銘柄平均で11.1%引き下げられたことに伴い、2024年1月10日納品分より製品価格の改定を実施する予定であります。消費者の節約志向や低価格志向が強まる中で、販売競争は一段と激しさを増しており、今後も厳しい経営環境が続くものと思われれます。当社グループといたしましては、中期経営計画「TTC150 Stage2」の達成に向けて、グループ従業員一丸となって取り組んでまいります。

②2023年12月期業績予想及び配当予想につきましては、2023年2月13日に公表しました業績予想から変更ありませんが、原料価格と製品価格の動向等により今後の業績に重要な変更が予想される場合には、適時適切に開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,482,407	8,071,663
受取手形及び売掛金	4,053,322	3,615,178
有価証券	2,261,500	2,261,500
商品及び製品	1,501,544	1,484,172
原材料及び貯蔵品	5,294,025	6,506,391
その他	118,934	243,118
貸倒引当金	△2,263	△1,907
流動資産合計	21,709,470	22,180,116
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,804,852	1,861,374
機械装置及び運搬具(純額)	1,322,090	1,368,054
土地	6,749,586	6,749,337
その他(純額)	189,488	235,430
有形固定資産合計	10,066,017	10,214,196
無形固定資産		
無形固定資産合計	236,777	364,125
投資その他の資産		
投資有価証券	9,426,110	10,325,097
その他	218,618	199,171
貸倒引当金	△63,864	△68,734
投資その他の資産合計	9,580,865	10,455,534
固定資産合計	19,883,660	21,033,856
資産合計	41,593,130	43,213,972
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,191,082	1,837,536
短期借入金	1,546,237	2,377,334
未払法人税等	340,543	121,781
賞与引当金	—	104,816
役員賞与引当金	19,606	10,242
その他	921,970	1,109,692
流動負債合計	4,019,439	5,561,404
固定負債		
長期借入金	1,302,949	93,744
退職給付に係る負債	16,255	15,879
役員株式給付引当金	26,199	34,812
その他	2,684,556	2,951,283
固定負債合計	4,029,960	3,095,719
負債合計	8,049,400	8,657,123

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,805,266	2,805,266
資本剰余金	2,766,940	2,766,940
利益剰余金	24,758,278	25,132,965
自己株式	△2,081,017	△2,078,540
株主資本合計	28,249,469	28,626,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,268,390	5,902,678
その他の包括利益累計額合計	5,268,390	5,902,678
非支配株主持分	25,870	27,538
純資産合計	33,543,730	34,556,849
負債純資産合計	41,593,130	43,213,972

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	17,714,839	19,446,419
売上原価	14,129,090	15,947,619
売上総利益	3,585,748	3,498,800
販売費及び一般管理費	2,714,920	2,746,871
営業利益	870,828	751,928
営業外収益		
受取利息	685	594
受取配当金	155,737	166,403
固定資産賃貸料	17,456	41,044
その他	53,718	57,010
営業外収益合計	227,598	265,052
営業外費用		
支払利息	14,436	12,152
設備賃貸費用	—	4,585
その他	3,152	680
営業外費用合計	17,588	17,418
経常利益	1,080,837	999,563
特別利益		
固定資産売却益	49	—
投資有価証券売却益	—	103,000
受取保険金	7,594	—
特別利益合計	7,644	103,000
特別損失		
固定資産除却損	2,739	1,720
減損損失	499	248
投資有価証券売却損	15	—
投資有価証券評価損	91,201	—
災害による損失	6,976	—
特別損失合計	101,432	1,968
税金等調整前四半期純利益	987,050	1,100,594
法人税、住民税及び事業税	343,231	360,987
法人税等調整額	△11,097	8,904
法人税等合計	332,133	369,892
四半期純利益	654,916	730,702
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,063	1,667
親会社株主に帰属する四半期純利益	655,979	729,034

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	654,916	730,702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	884,690	634,287
その他の包括利益合計	884,690	634,287
四半期包括利益	1,539,607	1,364,989
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,540,670	1,363,321
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,063	1,667



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。